

学 校 長 様
 関 係 機 関 長 様
 会 員 各 位

情報コミュニケーション学会 会長 阪井 和男(明治大学)
 第4回全国大会実行委員長 松永 公廣 (摂南大学)

第4回情報コミュニケーション学会全国大会のご案内

本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよりよい教育をおこなうために活動を行っております。

さて、第4回の全国大会を2月17,18日に摂南大学で下記のとおり開催します。この全国大会は会員だけでなく広く公開された大会になっておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

期日：2007年2月17日(土)～18日(日)

会場：摂南大学 寝屋川学舎10号館6階 (大阪府寝屋川市池田中町17番8号)

交通アクセスについて、詳しくは <http://www.setsunan.ac.jp/access.html> をご参照下さい。また、大会当日は駐車スペースがございませんので、公共交通機関でお越し下さい。

主催：情報コミュニケーション学会

後援：兵庫県教育委員会、大阪府教育委員会、寝屋川市教育委員会、交野市教育委員会、
 ひょうごeスクールコンソーシアム、兵庫県教育工学研究会、教育システム情報学会関西支部、
 情報文化学会近畿支部

日程：

会場	10号館 6F								11号館 11F
	エレベーター ホール	語学ゼミ室 9～10	語学ゼミ室 1～5	1061 教室	1062 教室	1063 教室	1064 教室	CALL 教室4	ルーエ DAIROKU
第1日目 2月17日(土)									
9:30-	受付								
10:00-12:10			企業 展示 (休憩室)	一般研究発表・企画セッション					
				A	K1	K2	B	C	
12:10-13:00				昼 食					
13:00-13:30		総会 (ゼミ室9)							
13:30-15:30				企画セッション					
				K3	K4	K5	K6		
15:45-17:15			基調講演						
17:30-								懇親会	
第2日目 2月18日(日)									
9:30-	受付								
10:00-12:00			企業 展示 (休憩室)	一般研究発表					
				D	E	F			
12:00-13:00				昼 食					
13:00-15:30			ワークショップ						
			W2					W1	

■企画セッション:

■K1 テーマ「携帯によるモバイルコミュニケーション、地域の安全・安心」

コーディネータ：羽石寛壽（摂南大学）

- K1-1 学校・家庭・地域の連携で守る子どもの安全
上野寛子（寝屋川市立田井小学校）
- K1-2 GPS 携帯を利用した安全・安心システムの構想
○松永公廣（摂南大学），垣東 弘一（園田学園女子大学），太田和志（東大阪大学短期大学部），
鴨谷真知子（東大阪大学短期大学部）
- K1-3 GPS 携帯安全・安心ツール「お守りキッズ」
鎌川陽一（株式会社アイティフォー）
- K1-4 WEB2.0時代の情報倫理教育
中條道雄（関西学院大学）

■K2, K5 テーマ「実践型e-ラーニング、評価」

コーディネータ（K2）：阪井和男（明治大学）

- K2-1 中学生を対象としたeラーニング事業の課題
浅野 剛（株式会社ベネッセコーポレーション）
- K2-2 eラーニング授業の学校サイドの利点
西坂伸弥（株式会社ベネッセコーポレーション）
- K2-3 同期型eラーニングのシステム導入・運用の評価観点
高村秀嗣（株式会社ベネッセコーポレーション）
- K2-4 学校現場でのSNS導入におけるコミュニケーション手段設計
岡田 行弘（株式会社ベネッセコーポレーション）
- K2-5 英語のViewing Skillの重要性とeラーニングの可能性
永見良介（株式会社ベネッセコーポレーション）

コーディネータ（K5）：山本 恒（園田学園女子大学）

- K5-1 オンデマンド授業の学習効果と目標到達度にBBSの活用は影響するか
阪井和男，栗山健，○宮原俊之，山田浩子，安原弘，松木俊之，前川裕作（明治大学）
- K5-2 秘匿保持チャット機能を用いたコミュニケーション型eラーニング
○大辻雄介，岡田行弘，松澤美和（株式会社ベネッセコーポレーション），小林建太郎（株式会社デジタル・ナレッジ）
- K5-3 Web2.0時代におけるeラーニングコンテンツの役割
堀田典子（株式会社ベネッセコーポレーション）
- K5-4 公教育連動型eラーニングと客観的評価法
田本揚子（株式会社ベネッセコーポレーション）
- K5-5 学力向上プロジェクトとeラーニング（学校と民間企業の連携）
田中光一（株式会社ベネッセコーポレーション）
- K5-6 「複数校同時接続ライブ授業」を通して見るeラーニングについての考察
鶴巻弘和（株式会社ベネッセコーポレーション）

■K3 パネルディスカッション テーマ「基礎学力とコミュニケーション能力」

キッズ、生徒、学生、社会人らの読む、聞く、書く、話す、判断する、考える力の低下が問題になっている。これらの力は、私達がコミュニケーションをとる場合に不可欠な力であり、国語科の基礎学力として重要である。また、メディアをとおしてコミュニケーションを行う場合には、「ことば」を通して「思い」を伝えるスキルも必要となってくる。そこで、これらをはじめとする基礎学力と情報社会に必要なコミュニケーション能力との関係に焦点を当てた研究発表とパネルディスカッションを行います。

コーディネータ：原 克彦（目白大学）

パネラー：高橋忠大（川西市立桜が丘小学校），米田浩（尼崎市立教育総合センター），
伊藤剛和（奈良教育大学），川口賢志（大阪府立島本高等学校）

■K4 テーマ「携帯によるモバイルコミュニケーション、教育」

コーディネータ：阪井和男（明治大学）

- K4-1 携帯メールコミュニケーションでの感情伝達における送信者側の意図と期待に関する分析
○加藤由樹（東京福祉大学），加藤尚吾（早稲田大学）
- K4-2 携帯電話を利用した学習環境システム ～ビジネスゲームによる検討～
○立野 貴之（和光大学），加藤由樹（東京福祉大学），加藤尚吾（早稲田大学）
- K4-3 携帯電話を用いた予習教材配信を導入した授業に対する学生の意識に関する検討
○加藤尚吾（早稲田大学），立野貴之（和光大学），加藤由樹（東京福祉大学）
- K4-4 携帯電話を活用した就職指導に関する試み(II)
○大隅敏明，川口栄美，松阪孝子，田端矢一郎（常磐会学園大学）
- K4-5 携帯メールを利用した国家試験対策のための入学前教育システム
○川島明子（園田学園女子大学），深津智恵美（園田学園女子大学），下倉 雅行（大阪大学），松永公廣（摂南大学）
- K4-6 学生の声を「即時に・直接」収集する講義 — ケイタイを用いた講義の事例 —
永谷 研一（株式会社ネットマン）

■K6 テーマ「多様な能力を持つ人のための情報教育」

コーディネータ：堀田博史（園田学園女子大学）

- K6-1 大学専門教育における e-Learning でのコーチングの効果
○田村恵里，堀田博史（園田学園女子大学）
- K6-2 知的障害者による協調学習とコンピュータ技術の向上についての研究
○福本千香，福山紗耶香，宇治典貞（園田学園女子大学）
- K6-3 知的障害者コンピュータ学習における学習困難点の調査 — 誤答の集計と分析より —
○福山紗耶香，福本千香，宇治典貞（園田学園女子大学）
- K6-4 教科「情報」を受けた大学生のための情報教育の実践
○佐野繭美，橋本 はる美（摂南大学），下倉 雅行（大阪大学），松永公廣（摂南大学）
- K6-5 SNS をプラットフォームとしたオンライン学習コミュニティの開発
— 保育士・幼稚園教諭および実習生の学びの場 —
○鴨谷真知子，太田和志（東大阪大学短期大学部），中植正剛，鶴宏史（神戸親和女子大学），
阪口友啓（東大阪大学短期大学部）

■一般研究発表：

A 「ヒトとモノとのコミュニケーション」

座長： 雨宮 孝（摂南大学）
川野常夫（摂南大学）

- A-1 密集住宅市街地を対象とした空間情報の計測技術の応用
熊谷樹一郎，○三澤康裕（摂南大学）
- A-2 計画支援システムにおけるインタラクション設計 — 生産スケジューリング問題への適用
○清水敦史，諏訪晴彦（摂南大学）
- A-3 配送計画に対するリアクティブ・システムの構築
○比嘉剛，諏訪晴彦（摂南大学）
- A-4 エリア分割に基づく TSP の解法
○豊久達哉，諏訪晴彦（摂南大学）
- A-5 計画支援システムにおけるインタラクション設計 — 二次元パッキング問題への適用
○武内敏文，諏訪晴彦（摂南大学）
- A-6 記憶負担を軽減するためのヒトとモノとのコミュニケーションの提案
— IC タグを用いた書籍探索システムの例 —
○川野常夫，福井 裕，北尾泰崇（摂南大学）

B 「ノンバーバルコミュニケーション」

座長： 小田桐良一（園田学園女子大学）

- B-1 キャラクターの表情が選択できる文字のない紙芝居
○二宮 愛子, 山本 恒（園田学園女子大学）
- B-2 バーチャル商店街体験システムを利用した情報教育の提案
○鍋野有希, 山本 恒（園田学園女子大学）
- B-3 スマイル教材作成簡易ツールの開発
○吉田実沙, 山本 恒（園田学園女子大学）
- B-4 ロボットのしぐさが及ぼす行動理解に関する研究
○島津真由, 小田桐良一（園田学園女子大学）

C 「情報と教育」

座長： 森石峰一（大阪電気通信大学）
村田雅之（東京工芸大学）

- C-1 「情報」ということの意味
○松浦 誠治, 森石峰一（大阪電気通信大学）
- C-2 大学におけるメディアリテラシー教育の実践事例 — 「制作」の位置づけの理論化にむけて —
村田雅之（東京工芸大学）
- C-3 Power Point でのマンガ教材作成を支援する VBA マクロの開発
竹内俊彦（川村学園女子大学）
- C-4 PC を利用した語学教育（CALL）とコミュニケーション
○中村達也, 津田元紀（株式会社内田洋行）

D 「教育・学習支援システム」

座長： 横山 宏（大阪電気通信大学）
深津智恵美（園田学園女子大学）

- D-1 携帯電話を活用する講義支援システムの実践
○柳 健琦（摂南大学）, 上向井照彦（甲子園短期大学）, 下倉 雅行（大阪大学）, 松永公廣（摂南大学）
- D-2 給食経営教育支援システムの開発
深津智恵美（園田学園女子大学）, 松永公廣（摂南大学）
- D-3 大学における科目設計・シラバス・授業設計の関係理解について
○横山 宏（大阪電気通信大学）, 佐野 繭美（摂南大学）, 下倉 雅行（大阪大学）, 松永 公廣（摂南大学）
- D-4 文科系学生のためのCプログラミング教育支援システムの開発と実践
○佐野繭美（摂南大学）, 横山 宏（大阪電気通信大学）, 橋本 はる美（摂南大学）, 下倉 雅行（大阪大学）, 松永 公廣（摂南大学）

E 「リテラシー」

座長： 西端律子（大阪大学）
脇田里子（同志社大学）

- E-1 レポート作成におけるビジュアル・シートによるプレライティング支援
○脇田 里子（同志社大学）, 越智 洋司（近畿大学）
- E-2 大学におけるメディアリテラシー教育の実践事例
— 地域との連携を目指した映像制作実践によるML教育の試み —
○塚本美恵子, ○青山 征彦（駿河台大学）, 村田雅之（東京工芸大学）
- E-3 フィンランドにおける ICT 教育について
西端律子（大阪大学）
- E-4 WebTA を用いた教職基礎「情報機器の操作」の授業実践
○下倉 雅行, 田中規久雄（大阪大学）

F 「コミュニケーション」

座長： 太田和志（東大阪大学短期大学部）
佐藤万寿美（兵庫県立西宮今津高等学校）

- F-1 Web2.0時代における情報共有手法の実践
藤本竜之介（熊本県立大学）
- F-2 コミュニケーション的視座からのスパムメール
俵木 裕毅（明治大学）
- F-3 相互評価による授業促進システムの開発
橋本はる美（摂南大学），佐野繭美（摂南大学），垣東弘一（園田学園女子大学），○松永公廣（摂南大学）
- F-4 日本語教育支援システムの開発
○西田純也（摂南大学），平澤洋一（城西大学），松永公廣（摂南大学）

■基調講演:

「コミュニケーション技術は社会とどう関わってきたか」

講師： 摂南大学 経営情報学部 経営情報学科教授 三藤 利雄 氏
司会： 摂南大学 経営情報学部 経営情報学科教授 松永 公廣 氏

■ワークショップ:

- W1 「CALL システムを中心とした IT 利用の授業支援実習」
主催者：中村達也（内田洋行）
- W2 「携帯電話を利用したかきこい教育システムを創る」
主催者：下倉雅行（大阪大学），上向井照彦（甲子園短期大学），柳 健琦（摂南大学），
深津智恵美（園田学園女子大学）

参加費等 参加費 1,000 円 論文集 3,000 円 懇親会費 4,000 円

大会事務局 摂南大学経営情報学部松永公廣研究室内
情報コミュニケーション学会第4回全国大会実行委員会
(E-mail: cis2007@kjo.setsunan.ac.jp)
全国大会ホームページ <http://www.cis.gr.jp/>